

わたしたちの難民問題

2024 vol.25



紛争や迫害を逃れ、家を追われた人が、
世界各地に約1億2000万人いるといわれています。
日本にも様々な国から難民が庇護を求めてきています。
難民の現状を知り、私たちにできることは何か、
一緒に考えてみませんか。

11/13(水) 『ガザの今を通してパレスチナを知る』

村山 盛忠さん(大阪生野教会 協力牧師)

2023年10月7日以降、イスラエルとパレスチナでは罪のない住民の命が奪われ続けています。長年にわたり繰り返す攻撃を受けているガザ地区。占領下で生きる人びとの今の暮らしと紛争が止まないこれまでのパレスチナ情勢の背景について聞きます。

11/27(水) 『日本の難民認定制度 現状と課題』

渡邊 彰悟さん(全国難民弁護団連絡会議 代表、第一東京弁護士会)

難民はどのような手続きを経て難民として認定されていくのか。入管法が改正され補完的保護対象者の認定制度や送還停止効の一部解除の規定等が創設されて、日本における難民の保護はどのように変わっていくのか。30年以上にわたり難民認定申請者の法的な支援を続けてこられた弁護士より日本の難民認定制度の現状と課題について伺います。

12/4(水) 『ミャンマーで何が起きているのか』

根本 敬さん(上智大学 名誉教授)

軍事政権により5000人以上が殺害され、国軍による空爆等のために故郷から逃れる難民、国内避難民は増え続けている。対抗政府である国民統一政府(NUG)の抵抗活動が全土で展開されているが、海外からの支援を届けることが難しい状況となっている。クーデターから3年半を経たミャンマーの実情についてビルマ研究の第一人者から伺います。

12/11(水) 『ウクライナ避難民支援の現状について』

吉椿 雅道さん(CODE 海外災害援助市民センター 事務局長)

ロシアによる侵攻が始まって2年半以上が経過する中、神戸市を中心にウクライナ避難民支援を行っている CODE 海外災害援助市民センター。一避難民の定住化に向けて、地域住民との相互理解や避難民が日本の地域社会へとつながるような支援活動も進めています。長期化する状況の中での避難民の現状と CODE による、一人一人の避難民に寄り添う支援活動について伺います。

時間：19:00~20:30

定員：40名

参加費：無料

会場：ZOOM を利用したオンライン講演会(申込者には当日の〈招待 URL〉をメールにお送りします。)

申込方法：右記の2次元コードを読み取り、申し込みフォームよりお申込みください。(各回の前日17時まで)



問合せ先：難民事業本部関西支部

078-361-1700 / kansai@rhq.gr.jp

神戸 YMCA 国際・奉仕センター

078-241-7204 / houshi@kobeymca.org

<https://x.gd/A619A>

主催：(公財)アジア福祉教育財団難民事業本部・(公財)神戸YMCA 協力：(公財)兵庫県国際交流協会・日本国際連合協会兵庫県本部